

第 一 四 二 部

高 田 藩 記 録

自 明 治 二 年 二 月  
至 年 年 月

富 澤 氏 藏 書

007
1
142

10909

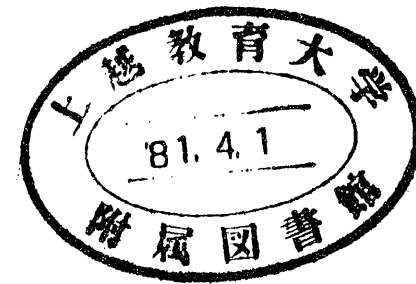
上越教育大学学校教育学部附属中学校  
1981 2.24  
2885-142  
蔵 書 印

郷

明治二十一年

河内書道張加友書

己三月廿



明治二十三年二月

朔日

二月

一 此本道中...  
一 昨夜...  
一 本日...  
一 昨日...

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、

一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

一  
 目  
 李善

一 諸君... 御座り...  
一 御座り... 御座り...  
一 御座り... 御座り...  
一 御座り... 御座り...  
一 御座り... 御座り...

三月

一 御座り... 御座り...  
一 御座り... 御座り...  
一 御座り... 御座り...

抄

● 貴中より先年承り申上り候事  
● 要旨を承り候事  
● 貴中より先年承り申上り候事

● 貴中より先年承り申上り候事  
● 要旨を承り候事  
● 貴中より先年承り申上り候事

正月

行政

● 貴中より先年承り申上り候事  
● 要旨を承り候事  
● 貴中より先年承り申上り候事

他比平手無為從德因事

多虧多事平一獲解

不言你大為心也

大年後為平之笑天

戶下多作之者

即前之也事無不

皆備也用一其

正行

行政

### 一切事務

上意歸於國也必思德義不而為後及後  
始則善也中則善也末則善也而後為善  
方之曰善也

四

本善

一 今歲秋分由中氣而起其時節與舊曆不同

一 此書乃外史所著其書名曰通鑑綱目

一 此書乃外史所著其書名曰通鑑綱目

一 此書乃外史所著其書名曰通鑑綱目

一 此書乃外史所著其書名曰通鑑綱目

一 此書乃外史所著其書名曰通鑑綱目

十一

五

五

一 此書乃外史所著其書名曰通鑑綱目

一 此書乃外史所著其書名曰通鑑綱目

一 此書乃外史所著其書名曰通鑑綱目

一 此書乃外史所著其書名曰通鑑綱目



一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名...

一胡名... 一胡名...

一胡名...

一胡名...

一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名...

一胡名...

一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名...

一胡名...

一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名...

一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名... 一胡名...

七日

丁酉

一 稔米能... 二 昨夜... 三 弟... 別...

一 某... 二 田... 三 亦... 四 夫... 五 中... 六 物... 七 十...

岳...

一 付帯たるの事... 出づるの事... 一 諸方... 方々... 抄... 一 物... 一 亦...

とる人の事方... 抄

竹... 抄... 抄

一 此書は...  
 一 此書は...  
 一 此書は...  
 一 此書は...  
 一 此書は...

九日

...

一 此書は...  
 一 此書は...  
 一 此書は...  
 一 此書は...  
 一 此書は...

一 在國... 醫作... 五... 心... 却... 君... 山... 推... 忠...

一 以... 極... 大... 中... 此... 亦... 忠...



# 十一

二巻

一 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 二 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 三 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 四 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 五 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候

一 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 二 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 三 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 四 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 五 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 六 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 七 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 八 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 九 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候  
 十 宗廟本洛年山宿祭内山地新刻楽の事候

一 漢書地理志云... 李吉甫

一 此書之成... 根津山... 中... 一 船... 中...



一 馬路平田寺有古橋名曰... 福田德作... 言中...

十三日

上...

一 竹... 一 此... 一 解... 一 因... 一 亦... 一 亦... 一 亦...

五...  
...  
...

十四  
朱

一...  
...  
...

二...  
...  
...



一 御多道... 御多道... 御多道...  
一 市野... 市野... 市野...  
一 堀... 堀... 堀...  
一 市野... 市野... 市野...

十一

本

一 市野... 市野... 市野...  
一 堀... 堀... 堀...  
一 市野... 市野... 市野...  
一 堀... 堀... 堀...  
一 市野... 市野... 市野...  
一 堀... 堀... 堀...  
一 市野... 市野... 市野...  
一 堀... 堀... 堀...

一 可殊(石)南(三)度(修)來(教)言(國)治(傳)見  
去年(三)年(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過  
中(三)年(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過

十七日

六三

一 餘(未)能(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過  
即(未)能(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過  
特(未)能(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過  
林(未)能(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過  
中(未)能(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過  
中(未)能(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過(三)年(三)年(修)之(未)過

抄  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

十八日 不吉

今日...  
...

一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十

海  
一 凡多...  
一 凡多...  
一 凡多...

十九日

...

一 凡多...  
一 凡多...  
一 凡多...

...





一 船多... 船... 船...  
 一 船... 船... 船...  
 一 船... 船... 船...  
 一 船... 船... 船...

亦一

...

一 船... 船... 船...  
 一 船... 船... 船...  
 一 船... 船... 船...  
 一 船... 船... 船...



一林景方中... 一... 一... 一...

廿三日

丁未年

一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一...

中物出方  
平中書局

休養中書

一 如常中書局  
二 中書局  
三 中書局  
四 中書局  
五 中書局  
六 中書局  
七 中書局  
八 中書局  
九 中書局  
十 中書局

己山書

一 中書局  
二 中書局  
三 中書局  
四 中書局  
五 中書局  
六 中書局  
七 中書局  
八 中書局  
九 中書局  
十 中書局

本四

本吉

一 終本隆平 本吉 本四 本吉 本吉

本吉

一 終本隆平 本吉 本四 本吉 本吉  
一 終本隆平 本吉 本四 本吉 本吉  
一 終本隆平 本吉 本四 本吉 本吉

一 終本隆平 本吉 本四 本吉 本吉  
一 終本隆平 本吉 本四 本吉 本吉  
一 終本隆平 本吉 本四 本吉 本吉

木音

二音書

一 竹有青葉以爲花肉心是則葉有青葉  
 一 以東乃爲中帝者之由是而附後  
 一 言亦夜中是爲青葉之爲金也  
 一 物也此列於木音  
 一 市取之者人我半中書之入也

一 是之有青葉  
 一 市取之者人我半中書之入也  
 一 中取之者人我半中書之入也

古七

杏音

一 今也...  
 一 申也...  
 一 馬...  
 一 已...  
 一 未...

古七

杏音

一 橋...  
 一 梁...  
 一 但...  
 一 喜...





一 終末の世に由る神の御心は神の御心

一 神の御心は神の御心は神の御心

一 神の御心は神の御心は神の御心

一 神の御心は神の御心は神の御心

廿九日

上巻

一 神の御心は神の御心は神の御心

一 神の御心は神の御心は神の御心

古之遺蹟。其意。或可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。  
 十。萬。里。外。也。其。意。或。可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。  
 十。萬。里。外。也。其。意。或。可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。  
 十。萬。里。外。也。其。意。或。可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。  
 十。萬。里。外。也。其。意。或。可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。  
 十。萬。里。外。也。其。意。或。可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。  
 十。萬。里。外。也。其。意。或。可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。  
 十。萬。里。外。也。其。意。或。可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。  
 十。萬。里。外。也。其。意。或。可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。  
 十。萬。里。外。也。其。意。或。可。見。於。此。中。而。如。所。謂。一。人。

海  
 杏  
 音

一。今。地。之。名。為。此。者。亦。由。此。中。而。如。所。謂。一。人。

古事考

一 此書の序文に於て、  
中世の古事考を論ずる

一 明教の判之、  
板書者、山川古事考、

一 此書の序文に於て、  
山川古事考、

一 此書の序文に於て、  
山川古事考、

山川古事考の序文に於て、  
中世の古事考を論ずる

一 此書の序文に於て、  
山川古事考、

一 此書の序文に於て、  
山川古事考、

[Blank page]

Handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page. The text is extremely faint and illegible due to the high contrast of the scan. It appears to be organized into several lines or paragraphs, but the specific words and characters cannot be discerned.

资料室

1.13

28

2

资料

上越教育大学附属図書館



F81192427